



広報

川越

No.758
平成3年
1/10



あですがた
艶姿・押絵羽子板

せん
千田貞雄さん(郭町二一・71歳)作

新年にあたって



川越市長 川会一

新年あめでとつござります。皆様には、ご家族おそろいで輝かしい平成三年の新春をお迎えのこと心からお喜び申し上げます。あと、年頭にあたり、市政に対する理解あるご協力に深く感謝を申し上げます。

昨年は、国際的に平和協調気運が高まる中で、中東湾岸情勢等、目まぐるしく変動した年でありました。

川越市政におきましては、皆様のご協力をいただき順調に推移いたしました。特に、昨年は、博物館、川越橋、川越駅東口市街地再開発事業など本市が長い間取り組んでまいりました事業が実を結んだ年であります。

市政の基本的運営につきましては、市民憲章の精神にのつとり、先人の築かれた貴重な歴史的文化遺産を大切にしながら、文化づくりを推進することです。

このような考え方を具体的にいたしましたのが、昭和五十八年に定めました「川越市総合計画」でございまして、目標年度を平成七年におき、「明るい未来をつくる緑豊かな国際性のある文化都市」を目指したものであります。

この総合計画も実施以来、既に、中盤を迎えて、社会経済情勢や本市を取り巻く環境も変化をいたしてまいりましたので、昨年は、市民参加のご協力を得て後期基本計画を策定いたしました。

はじめに、川越駅東口市街地再開発事業であります、本年二月をもちまして計画しましたすべてが完成いたします。

昨年は、五月に新しい川越の玄関口として再開発の中心施設、すなわち、再開発ビル「愛称・アトレ」をオーブンいたしましたが、アトレをオープンいたすことができました。以来、「アトレ」が商業ビルとして周辺商店街共々の繁栄を目指し、活動されておりますが、本市の活性化に大いに寄与し、地域の発展に役立つものと期待を寄せております。

現在、川越運動公園を継続事業として進めておりますが、平成二年度に、陸上競技場が完成する運びとなりました。

また、仮称森林公園構想であります、豊かな自然を関係地権者のご協力を得て、次の世代に伝えたいとするのが、この構想の狙いで、從来、平地林は、農業経営と深いつなわりを持ち、落葉が堆肥などに活用され、自然環境の中で保存され

てまいりました。しかし、近年の社会経済の発展に伴い、平地林にも開発の波が押し寄せ、緑が減少する傾向にあります。この大切な緑と自然環境を長期的視野に立て、森林公園として保存したいと考えてあります。

続いて、教育文化面であります。教育施設につきましては、毎年計画的に施設の整備、充実に努力してまいりましたが、情報化時代を迎えた今日、教育課程の中でも「コンピューター関係などの教育指導が不可欠であります。そこで、情報処理教育推進事業を進めておりましたが、本年度から小・中学校にパソコンを導入して、引き続き積極的に設備の拡充を図りたいと存じます。

また、文化面では、文化活動の拠点であります市民会館に新たに中ホール（五百十八席）、会議室等を設け、一層市民文化の振興、福祉の増進を図りたいと建設工事を進めています。

次に、下水道整備につきましては、皆様からのご要望も強く、市民生活に直結した極めて重要な施設であり、最も力を入れておりまして、一〇〇パーセント達成したいと最大限の努力をいたしております。

続いて、環境対策であります、地球的規模の環境汚染が進む中

品等の安定供給を図るため（仮称）川越地区卸売市場を大東地区に開設するため関係自治体と取り組んでおります。

こゝに、市政の一端を申し述べましたが、今後とも下水道、公園、道路等生活環境施設の整備、教育文化、スポーツ施設の充実、農業、商業、工業の振興を図り、急速に進展する高齢化、国際化等社会の変化に的確に対応するため市民福祉の増進に一層の努力をいたす所存でありますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ、ごあいさついたします。

見直し対象地区



山田地区



木野目・南田島地区

公聴会の日時会場

日時…2月6日(水)

午後1時30分から

会場…川越市民会館

(郭町1-18-7)

住みよいまちづくりを進めてい
くために、都市計画法では、土地
の性格を「市街化を促す、市街化
区域」と「当分開発などを抑える、
市街化調整区域」に分けています。
これがいわゆる「線引き」と呼ば
れるもので、おおむね五年ごとに
調査を行い、必要があるときは線
を策定いたしました。

今年の見直しをしています。
今回の見直しは、昭和六十年の
調査結果に基づくもので、山田地
区と「当分開発などを抑える、
市街化調整区域」に分けています。
この見直しは、都市計画の基本となるもの
で、今回は、市の二地区が対象となっています。
公聴会では、みんなの公共的、公益的立場に立
つたご意見をお寄せください。

見直し対象は二か所

区と木野目・南田島地区の二地区
(左図参照)を、計画的な整備の
見通しがたつまでの間、市街化調
整区域に変更しようとするとする内容で
あります。

公聴会を開催します

線引き見直しについて

公聴会を開催します

県では、二月六日(水)に、線引き見直し（市街化区域と市街化調整区域の境界線の変更）について、都

市計画法に基づく公聴会を開催します。

この線引き見直しは、都市計画の基本となるもので、今回も市内の二地区が対象となっています。

公聴会では、みんなの公共的、公益的立場に立つたご意見をお寄せください。

意見を発表するには

今回の公聴会は、線引き見直しについて、広く意見を伺い、今後

くものであります。

▶この用紙は市の都市計画課にあります

公述申出書

平成3年1月4日付で埼玉県報に登載された川越都市計画の構想に対して、次のとおり申します。

平成 年 番 烟 和 様
埼玉県知事 申出人 所名 齋 業

住 氏 年 職

意見の要旨及びその理由

意見の要旨と理由は、400字詰原稿用紙1枚以内に、〈要旨〉と〈理由〉を分けて、横書きに書いてください。

問合先：都市計画課（内線15500）

見直しの構想や対象地区の地図は、県が昨年十二月二十八日(金)の新聞折り込みで配布した「都市計画に関する公聴会のお知らせ」に紹介されています。この「お知らせ」は、市の都市計画課にもあります。紛失の方はご利用ください。

この公聴会で意見を発表するためには、公述申出書を提出し、公述人になることが必要です。

この公聴会で意見を発表するためには、公述申出書を提出し、公述人になる必要があります。

公聴会の傍聴

公聴会を傍聴したい方は、当日公述人を選択します。選ばれた方には、一月二十九日(火)までにお知らせします。

公述人の選定

公聴会は、開催時間などに制限があるのですが、申込者の中から知事が公述人を選択します。選ばれた方には、一月二十九日(火)までにお知らせします。

公聴会を傍聴したい方は、直接会場へお出かけください。ただし、入場は先着順ですので、満員のときは入場できなくなります。あらかじめご了承ください。

1月下旬
から

一番街の電線地中化工事スタート

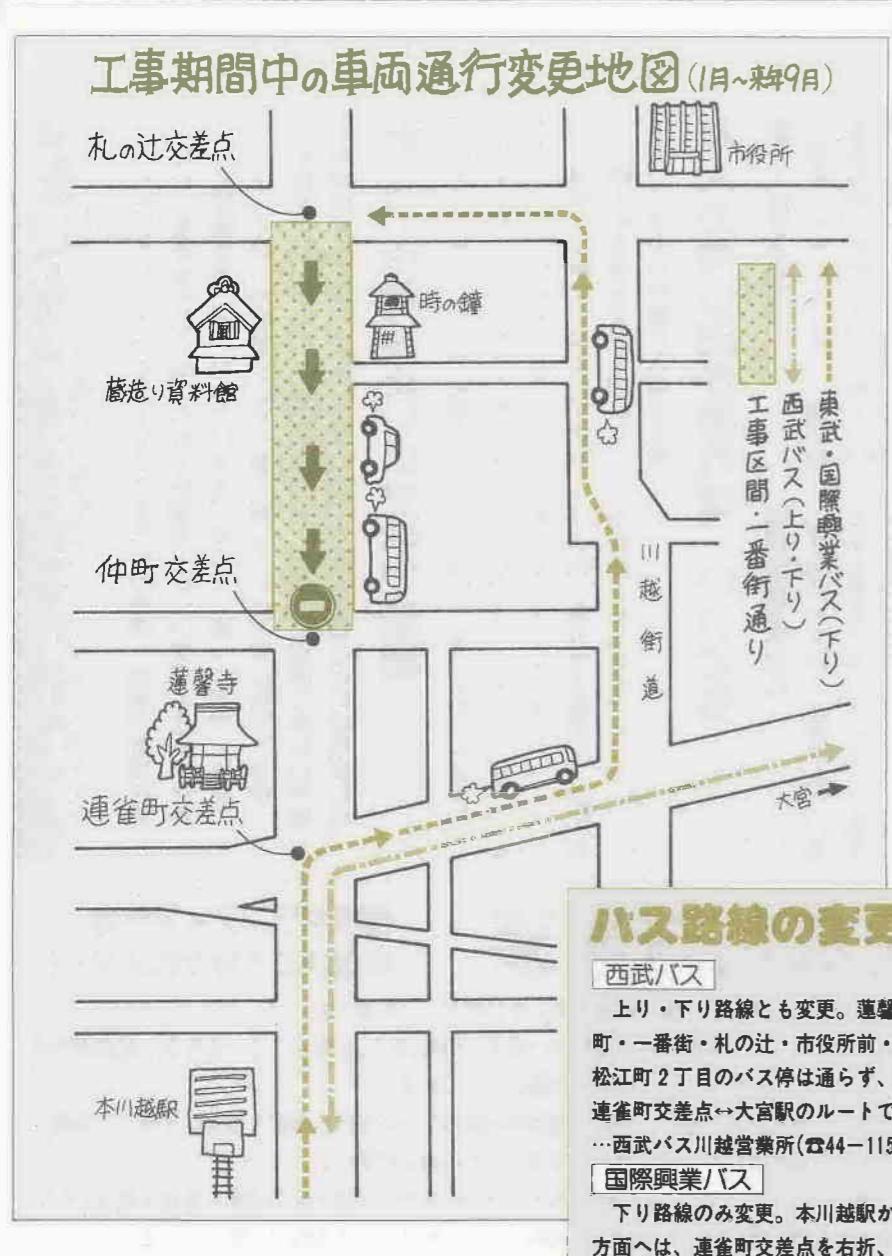
一番街（札の辻交差点と仲町交差点間）の電線地中化工事が、一月下旬スタートします。この工事では、上・下水道管の敷設替え、電力線、電話線の埋設などが行われます。工事の終了予定の平成四年九月末には、

工事期間は1月～来年9月

百年の歳月を越え、今も道ゆく人々を暖かく見つめる鬼瓦、いかにも重厚な観音扉、人々の郷愁を誇り、文化と歴史を今にとどめる蔵造り——。一番街通り（県道川越→毛呂山線）は、蔵造り商家が軒を連ね、川越まつりのメインステージにもなる町並みです。この一番街通りの電線地中化工事が、一月下旬から始まります。工事が行われる区間は、一番街の北と南を結ぶ、札の辻交差点と仲町交差点間、延長約四百五十メートルの道路です。総工費は、約十億円。上・下水道管、電力線、電柱を撤去し、新たに電線・電柱がある株東京電力や株NTTのほか、地元自治会長、商業者代表、県川越土木事務所、川越警察署、各バス会社などが市議会に賛成して工事を実施することになります。

話線のほか、CATVや有線放送線が道路の下に埋設されます。工事の終了する平成四年九月（予定）には、この通りから電線・電柱が無くなり、蔵造りや時の鐘がひとときわさやかな印象を与えてくれることでしょう。

一年半を超えるこの工事を進めていくのは、昨年四月に発足した「一番街電線地中化事業促進会議」（会長＝川合喜一市長）。一番街通りに電線・電柱がある株東京電力や株NTTのほか、地元自治会長、商業者代表、県川越土木事務所、川越警察署、各バス会社などが市議会に賛成して工事を実施することになります。



電線地中化工事の概要

工事の内容

- 下水道本管敷設替え、旧管撤去工事
- 電力線埋設工事
- 電話線埋設工事
- 下水・水道・電気・電話の各家への取り出しづ工事
- その他、有線などの数多くの工事が行われます。

- ▼ 一月下旬～三月末 下水本管工事
- ▼ 四月～米年三月末 下水本管工事と平行し、その他の工事を実施
- ▼ 来年四月～九月末 道路整備工事

工事は、全線約四百五十㍍を小区間に分け、順次進められます。

問合先……一番街電線地中化事業促進会議事務局
(道路維持課占用係 内線387)



皆様、新年明けましておめでとうございま
す。今年も昨年同様、「表通り裏通り」をよ
ろしくお願ひします。
さて、平成三年最初の話題は、だるま市で
にぎわった喜多院にある五百羅漢。(この五百
羅漢を詳しく調べている古橋寛さん(砂新田
一・72歳)を訪ねました。

尺八を吹く、行水をする。
果ては居眠りをする、
鼻をほじくる。喜多
院には、ユニークな羅漢
さんがいっぱい。



漢 ウオチック!!



ウーン、何とも豪快
な「鼻ほじり」です。

で活躍中。「ガイドをし
ていてよく質問をされるんです。
それならば、ちょっと詳しく調べ
てみようという気になつたそ
うです。

喜多院の五百羅漢は、およそ五
十年の歳月をかけ、文政八年(一
八二五年)に完成。十八羅漢や十

大弟子を含め、正確には五百四十
体あります。古橋さんによると全
国とのそれと比較しても面白い
特徴がー。「よその羅漢は、いか
にも修業者(僧りよ)的な姿形をし
ています。しかし、川越のものは
全く異なった風体をしているもの
が多いことに気づいたんです。つ
まり人間臭さを持っていること」。
初めに紹介したほか、頭をかく、
火鉢にあたる、足のつめを切るな
どユニークなしぐさの羅漢が多い
のです。また、手に持っているもの
では、かみそり、鎗、米袋、盆栽、石
まくらなど。興味深いところでは、
木の葉一枚。「これはたらようの
葉で、字が書けます。経文や通信

オリジナル曲の「ぐすりの歌」
や「峠のわが家」など三曲を披露
したあと、メンバーが約四十人の
お年寄りの間へ。今度は全員で、
「聖しこの夜」ともろびとこぞり

て、「赤鼻のトナカイ」を大合唱。
ママさんに負けじと大きな声で一
生懸命に歌うお年寄りたち。歌に
よる感動の輪が広がりました。

歌の次は、楽しいおしゃべり。
故郷の話、カラオケなど話
題は尽きません。また、幼
児と接する機会が少ないせ
いか、可愛い訪問者に目を
細めるお年寄りたち。一足
早いクリスマスプレゼント
に大喜びでした。楽しいふ
れあいのひとときが過ぎて
ゆきました。

※大東ハーモニーズでは、
施設などで希望があれば、
「歌の出前」をするそうで
す。問い合わせは長谷川さ
ん(☎43-81302)へ。

ママさんコーラスグループが お年寄りにクリスマスソングをフ レゼント。

ママさんコーラスグループが、
お年寄りにクリスマスソングをフ
レゼント。

施設のお年寄りと、歌で心を通
わせたいーー。昨年十二月十七日
(月)、軽費老人ホーム「花の人の家」
を訪れたのは、ママさんコーラス
「大東ハーモニーズ」。メンバー
十七人と指導者の長谷川优先さん
(厄町三・45歳)、それにメンバ
ーの子どもたち四人。

ママさんコーラスグループが、
お年寄りにクリスマスソングをフ
レゼント。

ママさんコーラスグループが、
お年寄りにクリスマスソングをフ
レゼント。



五百羅

尺八で、気持良さそうに
名曲(?)を吹くラカンさん。



に使用していたもので、これ
がハガキのもと、という人も
います。特に変わっている
ものでは、台座に「あやめ」が
彫つてあるもの。数ある羅漢
で台座に模様がほどこされて
いるのはこれだけのこと。
古橋さんは、羅漢を彫った
石屋さんにも目を向けています。
五百四十の顔をじっと観察す
ると、よく似た顔が何組か見
つかつたそうです。「長い年月を
かけて、同じ石屋さんが彫つたも
のだと思いますよ」。

さられる発見は、石屋さんの氣
配り。「かみそりを持つ羅漢には、
といが置いてあります。見た目
には分からぬが、手で触つてみ
ると真ん中がへこんでいるんです
よ」。石屋さんの気配りに感心す
ると同時に、古橋さんの觀察眼に
もビックリ。

皆さんも寒さに負けず、五百羅

力エルが刻まれている
ラカンさんは、全部で三
体。さがしてみませんか。

まちのできごと フォト・パレット

高盛りにお腹いっぱい

大東地区・大袋新田に残る珍しい行事の
弁天講。12月16日(月)に同自治会館で行われ
ました。「高盛り」という、茶わんにうず高く
盛られたご飯と、団子、けんちん汁をたら
ふく食べる。この日は講員のほか、見
学者にもふるまわれ、とんがり帽子のよう
に盛られたご飯に目を丸くしていました。



訪れた“オデット姫”

伊佐沼で、優雅に舞う“バレリーナ”。
12月19日(木)の午後、約7年ぶりに大白鳥
が飛来しました。たった一羽でやって来た
この“オデット姫”。わずかな時間でしたが、
川越市民の目を楽しませてくれました。
伊佐沼では、疲れた羽をちょっぴりいやせ
たでしょうか。Good Luck!



県野鳥の会川越支部長

笠原啓一さん(元町1)撮影



東欧、激動の国々

川邊早恵子さん(諏訪町・50歳)
県が実施する女性の海外派遣視察研修の一員として参加。9月3日から、オーストリア、チェコスロバキア、ハンガリーの3か国に、12日間の旅をしてきました。目的は、訪問国の女性を取り巻く福祉、教育、労働の制度や状況を学ぶこと。国際的視野を持ち、女性の地位向上の助けとします。

ウイーンでは、世界の婦人問題の情報発進地である国連婦人の地位向上委員会を視察。体制の弾圧に屈せず「プラハの春」を勝ち取った国民の英知に拍手。プラベストでは企業が国営から民営に移り「月明かり労働」を実践し、自国の経済を立て直す国民たち。激動する国々、建国には厳しいものがあります。

また、エイズ、売春、覚せい剤などは、大きな問題となっています。ウイーンでは、チェコとの国境でこれらのトラブルに巻き込まれ、国境封鎖を経験。とても緊迫した時間を過ごし、身の危険を感じました。陸続きの国々ではささいなことでも暴動が起き、危険は背中合わせと聞きました。とても貴重な学習と経験の旅でした。

イラストコーナー



工藤寛枝さん

(岸町1・13歳)

ママさんコーラス 歌のプレゼントいかが

ママさんコーラスグループが、
お年寄りにクリスマスソングをフ
レゼント。

ママさんコーラスグループが、
お年寄りにクリスマスソングをフ
レゼント。

ママさんコーラスグループが、
お年寄りにクリスマスソングをフ
レゼント。

みんなの作文

「もうすぐ親子コンサートが始まる。楽しみだな。音楽の金子先生からも、まるで、小学生じやないよつた演奏だと聞いているし、ぼくより六歳も年下の、小さな女の子がいるなんて信じられないなあ」授業中も、気持ちは演奏の方へ行ってしまいそうだ。

今日は、日曜参観日。授業参観の後、親子コンサートがあり、マリンバ・ボニーズの演奏が聞けるのだ。

ぼくの気持ちが伝わったのか、割と早めにチャイムが鳴ったようを感じた。クラスの友達と、「どんな楽器を使うんだろう」と、ステージには、テレビで見ることがある「マリンバ」という樂器が並んでいる。わあ、これがマリンバか、さすがに大き



マリンバ・ボニーズの演奏を聴いて

山田小5年
ゆき
山口

りの教

感動してなみだが、出そうになつた。どの曲も、ぐつと心にひびいてくる。

その中でも特に、「剣の舞」、「小犬のワルツ」が印象に残つた。「小犬のワルツ」は、前に何度も聴いたことがあつたので、自然に足が動いてしまつた。「剣の舞」の迫力、スピード感。

ボニーズのみんなの笑顔もいい。

リズムに乗つて、休全体が楽譜になつてゐるようだ。

家に帰つて、家族にそのことをいつしょくんめい話した。

特に、音楽高校に通つてゐる姉との話はいつになつても終わらなかつた。

うきうきする気持ちがおさえられない。早く演奏を聞きたい。最初に、四年生の合唱と合奏があり、次がいよいよボニーズの番だ。

演奏が始まつた。ぼくは、あつけにとられた。すごい。体が音楽に引きつけられそつだ。マリンバやドラムのばちが見えないほど速い。ベルの音もきれいにすんでひびいてくる。

いなあ。

テレビ広報 わが街川越

午後5:30~5:40
午後10:00~10:10(再)
一部変更になることがあります



テレビ埼玉

アニメで紹介する 川越の伝説

歴史ある川越には、親から子へ、子から孫へと語り継がれてきた伝説が、今でも多く残っています。それらの中から今回は、名細地区に伝わる「小畔川の小次郎」と川越城の七不思議から「初雁の杉」の2編を、童画家・池原昭治さんの絵と朗読ボランティア・森田昌枝さんの語りでお送りします。

気ままに川越小さな旅② 「成人の日」の大東地区

市内に潜んでる魅力を探しに、気ままに出かけていくシリーズ。今回は、成人の日、大東地区を巡ります。

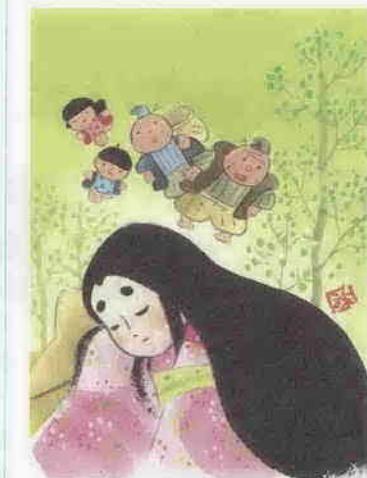


親子連れなどにぎわう、川越水上公園・アイススケート場。軽井沢にでもいるような雰囲気の八瀬大橋から国道16号に抜ける道。独特なつき方で観客を魅了する南大塚の餅つき踊りなどを訪ねます。

『武州路 いで湯と味の旅』(テレビ東京)

1月21日(月)午前7時50分~8時40分

埼玉県の味と見どころを案内する番組の中で、川越の本丸御殿、博物館、菓子屋横丁等が紹介されます。



(市教育委員会社会教育課刊行
「続川越の伝説」から引用)

■広報川越は、再生紙を使用しています■

絵と文 池原昭治氏

むかしのおはなしです。小野小町があつたことを知り、塚のことをいつまでも伝えるために「いねむり塚」と呼ぶようになったそうです。それに、塚にお参りすると難病が直るといつたり、近くに湧いていた清水を「化粧の井」といってその水で顔を洗うと美人になるともいわれたりからさめた女人を見て、あたりの美人だったのですも、ただ見つめるばかりでした。小

むかしの場をぐるめに、いざたたび旅をつづけるたまつたときでした。道ばたにこんもりとした塚がありましたので、ここでひと休みしようと腰かけました。旅の疲れがどつとでましたものか、つ

野小町はすくその場をはなれ、ふたたび旅をつづけるたまつたときでした。道ばたにこんもりとした塚がありましたので、ここでひと休みしようと腰かけました。旅の疲れがどつとでましたものか、つ